

令和5年度大谷場中学校だより



おおやば

第4号

令和5年6月30日(金)発行

学校教育目標

「より高く、より広く、より深く、より強く」



さいたま市立大谷場中学校

〒336-0016 さいたま市南区大谷場 2-13-54 Tel.882-9962

HP: <https://oyaba-j@saitama-city.ed.jp/> MAIL: oyaba-j@saitama-city.ed.jp

「前」を向いて

校長 八坂和典

6月3日(土)から行われた『さいたま市中学校総合体育大会』(陸上競技は6月18日(日)から、水泳は27日(水)から)では、3年生の赤学年を中心に素晴らしい試合やレースを行ってくれました。どんなに点差があっても、最後まであきらめず、くらいついていく姿勢は見事でした。また、チームで一丸となり、仲間を一生懸命に応援する姿、負けても腐らず、最後まで相手に対して礼を尽くしている姿、「校長先生、応援ありがとうございました」と感謝の言葉を伝えてくれた姿、参加した、どの生徒からもそのスポーツマンらしい清々しさが伝わってきてとても感動しました。君たちはこれまでの部活動の取り組みを通して、間違いなく人として成長することができています。特に3年生の中にはこの大会をもって部活動を引退する生徒もいると思いますが、この2年間の中で試合の結果以外に得た成果が、必ず自分自身の中にあるはずです。自信をもって、次のステージへの目標を定め「前」を向いて、頑張ってみてください。そして、いよいよ次は文化部の皆さんです。コンクールや作品展、研究成果の発表など、一つの節目としてやり切ってください。応援しています。



さて、今年度も5月に先生の卵となる教育実習生を本校でも迎え入れ、3週間実習に取り組んでもらいました。教育実習生は、人生で初めて「先生」と呼ばれることに対する喜びと緊張感を感じながら実習に臨んでくれました。最初は大きな不安を抱えていたようですが、生徒の皆さんの温かい対応や先生方の熱心な指導のおかげで、無事3週間の実習を終えることができました。実習最終日に「先生になりたいくなりましたか?」という問いかけに「先生になりたいと思いました。」と笑顔で返してくれました。いつの日か本当の教師として教壇に立ってくださることを期待しています。その実習生の中に、パラアスリートとして全日本選手権100Mで3位の実力者であり、パリのパラリンピックを目指している学生がいました。名前は田巻先生です。田巻先生は自分の生い立ちや目標としていることなどを生徒に伝えたいということで、体育祭の練習の一部の時間を使って、全校生徒に話をしてくれました。(学校だよりには本人と確認済みです。)小学生の頃、病気で左足を切断することになったこと、「速く走りたい」という強い思いから、陸上競技を始めたこと、今はパラリンピックを目指して、日々頑張っていることなど丁寧に話をしてくれました。また、義足についての説明と実際に装着する姿も見せてくれ、最後は生徒全員と約100Mを一緒に走ってくれました。生徒の誰よりも早く、そして力強く走ってくれた姿に感動しました。どんな逆境の中でも自分自身の



の明確な目標をもって、「前」を向いて、たくましく生きている姿に何かを感じた生徒も沢山いたのではないのでしょうか。私たちも日々の生活の中で、思うようにいかないことや苦しいことなど様々なことがあります。でも、そこで下を向くのではなく、この田巻先生のように夢や目標を持ち、「前」を見て進んでいくたくましさをも身につけていくことが大切なのではないのでしょうか。田巻先生との出会いを無駄にせず、感じたこと、考えたことを自分たちの生活の中にしっかりと生かしていきましょう。そして、2024年に行われるパリパラリンピックを目指して頑張っている田巻先生をみんなで応援していきましょう。夢の実現を目指して頑張れ、田巻先生!

※6月はいじめ撲滅月間でした。互いのよさを認め合い、思いやりのあふれる学校を大谷場中学校生徒、教職員、みんなで作っていきましょう。

※6月24日(土)に体育祭が行われました。3年生を中心に学校全体の一体感を感じる素晴らしい体育祭でした。ご参会いただきました学校運営協議会委員の皆様をはじめ、保護者の皆様、温かいご声援とマナー等に関するご理解とご協力をありがとうございました。